

川口東学区まちづくり計画



川口ねぶか



汐廻し川



樋之堂



夏まつり



地神様



水神様

川口東学区民憲章

1. あいさつを行いましょう
1. スポーツに楽しみましょう
1. 交通マナーを守りましょう
1. 人権を大切にしましょう
1. 時間を守りましょう



まちづくり計画とは

「まちづくり計画」とは、まちづくりアンケートの情報などから、川口東学区の目指すべき姿(こうなったらええなあ)や課題(こんなことに困るとるんよねえ)を抽出し、その解決方法や道筋を、そこに住む私たち川口東学区の住民が、自ら考えとりまとめるものです。

まちづくりは決して1人でできるものではありません。それぞれが役割を担い、ともに力を合わせ、ともに汗をかき、まちづくりを進めていかななくてはなりません。私たちのまちのことを考え、私たちでできることから始めましょう。

川口東学区の生い立ち

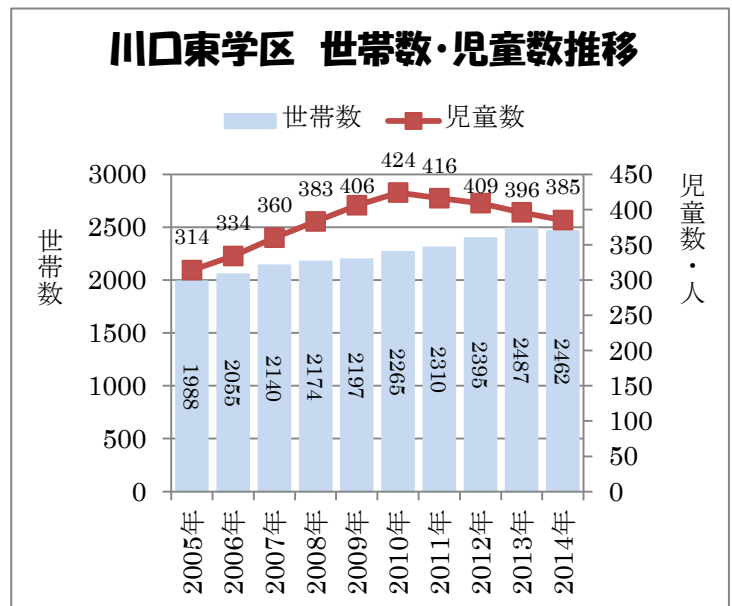
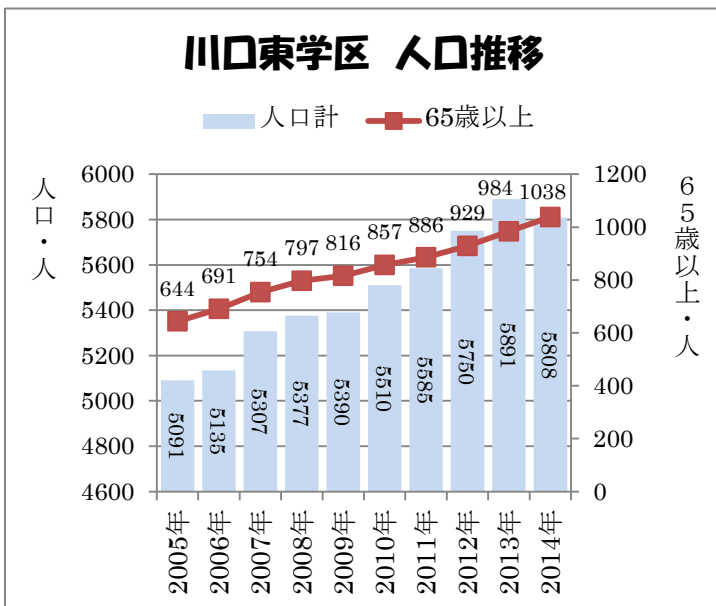
約340年前、1671年(寛文11年、江戸時代)に芦田川のデルタである野上・多治米沖に川口村として干拓造成され、以後福山の城下町として綿・桑・野菜・米麦などの生産をする農業を主産業として来ました。特にねぎが「川口ねぶか」として特産品となり、有名になりました。

近年の転換期としては、昭和38年から始まった土地改良区画整理事業により碁盤の目のように整地された道路・水路が出来上がりまちの礎となっています。

住民の増加と共に小学校も、1982年(昭和57年)に川口小学校から分離して川口東小学校が誕生しました。

今や2400世帯を越す都市近郊型のまちに変貌しています。

川口東学区の現状

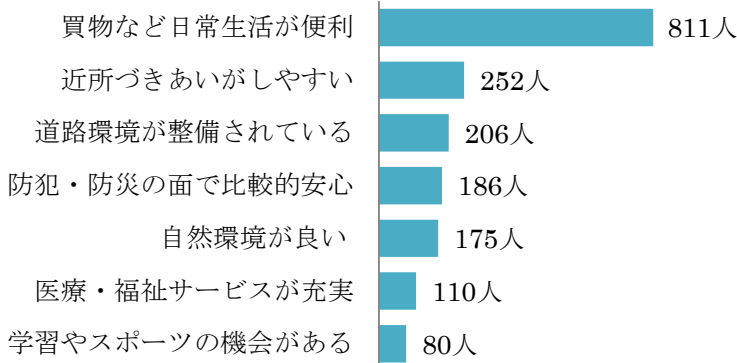


川口東学区 町内会加入率推移

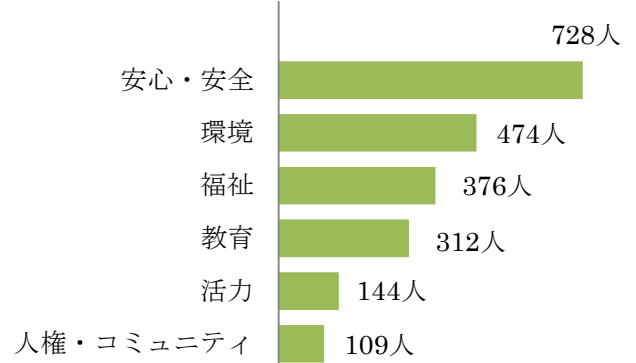
	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
町内会加入率	56.7%	55.0%	53.9%	52.6%	50.1%	50.4%

まちづくりアンケートより

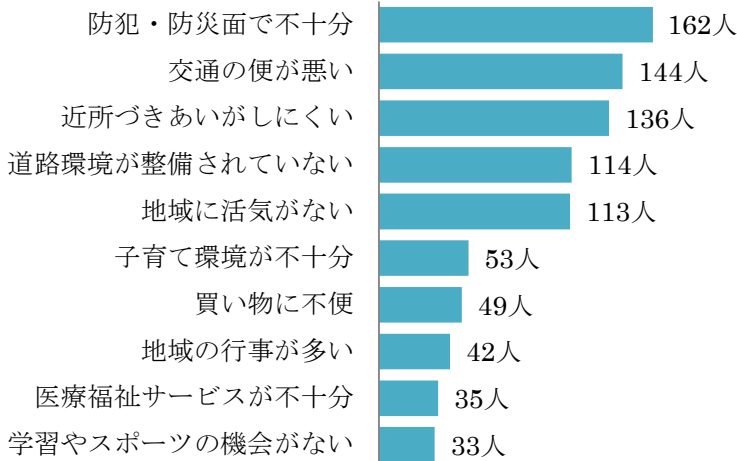
住みやすいと思うところ



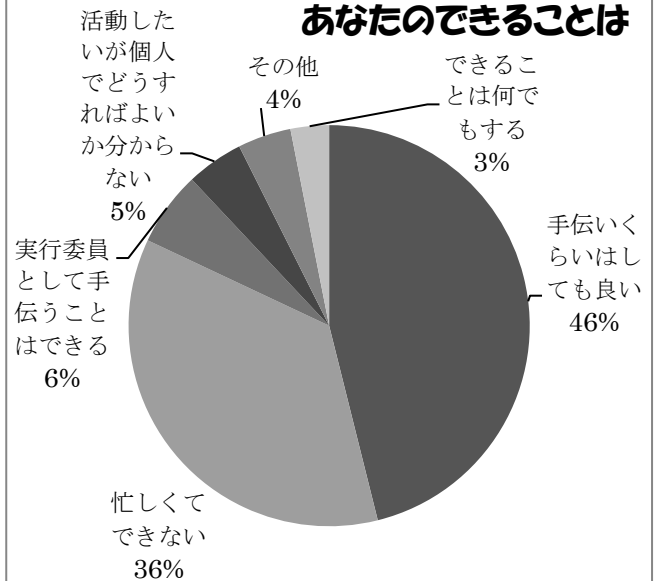
まちづくりにおいて必要な取組は



住みにくいと思うところ



あなたができることは



川口東学区も、少子化・高齢化社会が押し寄せて、また近年の急速な宅地化に伴い、住民同士の連帯意識がまだまだ低いように感じられます。

自治体加入率・各種団体への加入率も福山市平均より低く、協働のまちづくりの思いが強く浸透しがたい状態となっています。

問題点としては

- 海拔〇メートル以下の地区が多いため、自助・共助・公助が重要。また津波などの際の避難場所の確保が必要である。
 - 住民の連帯強化の為の居場所作りが不足している
 - 市街に近くまた病院・スーパーなども近いため利便性が高いが、道路幅が狭く交通事故が多発している。
 - 伝統文化的な行事が廃れてきた。
- などがあげられます。

川口東学区まちづくり推進委員会

町内会連合会

子ども会

女性会

体育会

川口保育所

川口保育所保護者会

川口東小学校

川口東小学校PTA

城南中PTA

老人クラブ

福祉を高める会

公衆衛生推進委員会

防火協会

防犯組合

青少年育成協議会

土木常設員

土地改良区

行政職員の会

交通安全自治会

人権学習推進協議会

民生児童委員

公民館運営委員会

自主防災組織

ボランティアの会

アポロの会

公民館



とんど



通学路清掃

計画実施運営委員会

キャラクター委員会

小学校・PTA・公民館・行政職員の会で構成

地域人材発掘委員会

小学校・老人クラブ・公民館で構成

ゆうゆうサロン運営委員会

福祉を高める会・ボランティアの会・女性会・老人クラブ・アポロの会・子ども会・地域ボランティアで構成

まちづくり推進委員会は

町内会をはじめ各種団体等で構成されています。学区に共通する課題の解決に向けた取組を行うとともに、学区の活性化に向けた取組やコミュニティの育成を行っています。

計画実施運営委員会は

まちづくり計画で計画した事業を実施・運営するための委員会です。分野を中心に、それぞれ関係する団体で構成し、それぞれの取組を行います。



ふれあいまつり



見守り運動



30周年記念



夏まつり



もちつき

2015年(平成27年)2月
川口東学区まちづくり推進委員会